

第50回東北農業経済学会岩手大会プレシンポジウム

震災復興の道標（みちしるべ）をどこに求めるか

—岩手県三陸沿岸部の地域経済・農業・水産業・生活の現状と課題—

日時 2013年11月16日(土) 13時~17時

場所 岩手大学学生センターA棟 G1大講義室

(1) 主催者挨拶 (13時05分~13時10分)

(2) 司会者から (13時10分~13時20分)

横山英信(岩手大学人文社会科学部教授)

(3) 報告 (13時20分~15時20分)

① 岩手県沿岸の地域経済と水産業の位置—大震災津波の影響を中心にして—

植田真弘氏(岩手県立大学地域政策研究センター教授)

② 被災地における復旧・復興の取組と課題—農業改良普及活動の視点から—

古川勉氏(大船渡農業改良普及センター所長)

③ 水産業の復興に向けて—JFグループ岩手県等の取組みから—

佐々木安彦氏(岩手県漁業協同組合連合会指導部振興課長)

④ 「いわて復興一揆2013」から見た、住民自らが起こす運動の意義

鈴木露通氏(東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議事務局長)

(4) 休憩 (15時20分~15時40分)

(5) 意見交換 (15時40分~16時50分)

(6) 司会者まとめ (16時50分~17時00分)

東日本大震災が発生してから2年8ヶ月を経ているが、宮城県、福島県と同様に岩手県においてもその影響は大きく、復興についてはその途についたばかりの段階である。本プレシンポジウムでは、地域経済、農業、水産業、生活の4つの場面を選定し、それぞれ活動に携わる方からの報告をお願いした。岩手県における震災の影響と地域の状況を明らかにするとともに、そこに関わる問題、課題方策等について提起していただき、復興への確かな道標（みちしるべ）を発見することに努めたい。

【連絡先】

〒020-8550 盛岡市上田3丁目18-34 岩手大学人文社会科学部 横山英信(東北農業経済学会常務理事)
Phone/Fax 019-621-6777 E-mail yokoyama@iwate-u.ac.jp